

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
1-1	<p>私はこのまちづくり基本計画に反対します。</p> <p>自治体の存在意義は、ひとりひとりの市民が平和で幸福な生活ができるように環境を整える事です。住んでいる場所や年齢、性別や国籍、障害の有無に関わらず、他者を尊重し市民として誠実に生活しているならば、誰一人取り残さず、その人権を保障する政策を実行しなくてはなりません。</p> <p>また、現在の世界や日本の政治的状況、そして加速化する地球の気候変動や温暖化の現実を踏まえて、有効な政策を立案し、実施しなくてはなりません。</p> <p>この大前提を忘れることなく、今回のまちづくり事業について再検討して頂きたいと思えます。</p> <p>今回の事業は、防衛省の基地と共存するまちづくり支援事業の補助金が建設費用の大半を占めています。安保3文書改訂による防衛費倍増が決定した今の日本において、防衛省から多額の補助金を受けることで、今より更に危険な軍備の配置を押し付けられる懸念があります。</p> <p>万が一有事となれば、木更津市は真っ先にミサイルの標的になってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>本まちづくり基本計画は、自衛隊等の航空機の騒音により周辺地域の住民の生活などが阻害されている状況において、その障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設の存在を前提としたまちづくりを行う場合に、国がその一部を補助する「まちづくり支援事業」の採択を目指すものです。</p> <p>なお、安全確保につきましては、全ての航空機の運用・整備についての安全対策の徹底を引き続き働きかけてまいります。</p>
1-2	<p>また地球温暖化が急速に進行する中で、大規模津波などの自然災害による施設破壊の恐れに加え、しのびよる海面上昇があります。南太平洋の幾つかの島はすでに海中に水没しています。たとえどんなに立派な施設を建設しても浸水したら使用できません。ゼロカーボンシティ宣言をした木更津市なので、施設で使う電力は当然太陽光パネルなどの再生エネルギーですが、浸水すれば廃棄物となってしまいます。吾妻地区の住民の災害避難場所はもちろん必要ですが、設置する際に注意してほしいのは、先ほどの海面上昇です。これから何十年も未来の海面上昇を計算に入れて建設しないと、完成した時にすでに足元は海となりかねません。1月9日付の産経新聞朝刊の記事に、全国の数か所の災害避難タワーが無効であると掲載されていました。</p>	<p>吾妻地区には津波に対応した避難施設がないことから、周辺住民や施設利用者が安全に避難する施設を整備してまいります。</p> <p>さらに、施設内部が避難所機能、支援物資の搬入場所としての機能を備えることから、必要な設備を上層階に設置する等、大規模な災害時にも機能を失うことがないような配置の検討を進めてまいります。</p> <p>また、吾妻公園における盛土につきましては、防災ハザードマップに基づき設定しておりますが、将来における海面水位上昇予測を踏まえ、盛土高の検討を進めてまいります。</p>
1-3	<p>また施設が巨大な集合施設であればあるほど、メンテや維持費が莫大な支出となります。たとえ利用率が低くてもランニングコストは市がずっと負担します。</p>	<p>施設を複合化することにより、施設を単独で整備する場合に比べ、面積やランニングコストが削減できるメリットがあります。</p> <p>また、施設に係る維持管理費用につきましても、将来に負担を残さないために、少しでも安価となるような施設整備の検討を進めてまいります。</p>
1-4	<p>基本計画では、施設へのアクセスをほぼ自家用車を前提としていますが、現在でも徒歩や自転車、公共交通機関を移動手段としている市民も少なくありません。まして、木更津市にも近い未来に必ず訪れる超高齢化社会では、自動車を運転できない人口が激増します。全ての市民がこの公共施設を利用できるためには、まずは「地域の足」の整備を並行して実施しなければなりません。</p>	<p>自動車以外で訪れる人の利便性も考慮し、イオンタウン株式会社で運行している巡回バスのルートを吾妻公園まで延伸することを進めてまいります。</p>
1-5	<p>公共施設の建設場所を、木更津飛行場周辺にこだわるよりは、JR木更津駅周辺に、コンパクトで良いので市が所有する市庁舎や公民館、図書館やスーパーなどがあつた方がみなとまち木更津の再生につながると思います。</p> <p>鉄道の駅は、その街の「顔」です。JRと連携して、駅回りを整え再開発し、市民や学生が利用しやすい場所にしていける。大規模なホールなどの集合公共施設を新に造るよりは、今ある空き家などをリノベして、ミニシアターや古本屋、カフェなど個性的なお店を地域の若者の意見を聞きながら作っていけば、今の若い世代が生き生きと活躍する舞台としてのみなとまち・きさらづが創生できるでしょう。木更津駅は、高校生などの学生達が多く利用する場所なので、彼等の意見を先ずは徹底的にリサーチすべきです。「歩いて暮らせる街」「楽しく買い物をしながら話もできる商店街」の再生を期待します。</p> <p>また、徒歩や公共交通機関で生活するライフスタイルは健康にもよく、脱炭素でゼロカーボンシティをめざす木更津市にはぴったりです。ウォーキングやサイクリングに快適な道路整備をこれからの木更津市に期待します。</p> <p>木更津市は広いので、それぞれのコアタウンをつなぎながら、病院やスーパー、銀行、商業施設、図書館などに行ける低額のコミュニティバスが運行すれば、公共施設の利用率もアップするのではないのでしょうか。他のコアタウンの住民同士の交流をすすめるためにも、時々、バス内でのレクなどであると良いですね！</p> <p>気候変動の時代に生きる私たちのまちづくりでは、大規模で一点集中型の公共施設を建設するよりも、コンパクトな施設がコアタウンに必ず一つある方が望ましい。ピカピカの新築ではなくても、現存する施設をリフォームして使用する方が、今までの歴史もわかり、廃棄物も少なくエコではないのでしょうか。外国人住民も含め多様な個性の市民のニーズと知恵を結集し、その地域にしかない魅力を、あまりお金をかけずに創生していくべきです。</p>	<p>木更津駅周辺は徒歩でのアクセスは良好である一方、文化芸術施設の整備に必要なまとまった敷地の確保が困難であり、用地取得及び駐車場整備の費用を要する点も、事業期間の長期化が懸念されます。よって、交通アクセスが良く、まとまった敷地が確保できるとともに、補助金の活用が見込まれる吾妻公園が整備候補地として最適であると考えております。</p> <p>木更津駅周辺におきましては、空き店舗を改修し出店する方に対して、改修工事費の一部を補助する空き店舗活用支援事業など、空き店舗の利活用による創業の促進や商業の振興等を図っております。</p> <p>また、快適な歩行者空間の形成を図るとともに賑わいのあるまちづくりを目指し、富士見通り歩道整備や無電柱化の推進、アーケード撤去事業等を実施してまいります。</p> <p>地域の特性を活かした拠点の形成を図り、それらを公共交通等のネットワークで相互に結び「拠点ネットワーク型の集約型都市構造の形成」を目指し、市街地循環バスの実証運行を踏まえたバス路線等の再編の検討を進めてまいります。</p> <p>市民の文化活動発表の拠点につきましては整備が待ち望まれていることから、文化芸術活動や生涯学習の交流拠点となる施設整備を進めてまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
2-1	<p>A) 公民館、中規模ホール、図書館の複合施設を提案するにあたって、基本構想の段階では、事前に、公民館運営審議会に説明や意見を伺うなどを行われず、基本構想の意見公募を終え、2022年6月に基本構想が確定し、その後9月29日に公民館運営審議会に説明をされています。</p> <p>今回の基本計画を意見公募する前に、公民館運営審議会に基本計画に対しての意見や質問など質疑し、盛り込むチャンスはあったのでしょうか。木更津市のイベント一覧で検索しましたが、公民館運営審議会は開催されていないようです。</p> <p>公民館は、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想段階では、もちろん、基本計画の作成段階でも、協議会の意見を参考にしながら作ったのではないことが明白です。残念です。</p>	<p>まちづくり基本計画策定にあたり、令和4年9月29日、12月21日の公民館運営審議会において、それぞれまちづくり基本構想、まちづくり基本計画（素案）のご説明をさせていただき、ご意見を頂戴いたしました。</p> <p>また、「新木更津市立図書館整備計画」との連携を図ってまいりました。</p> <p>令和5年度のまちづくり実施計画策定においては、公民館運営審議会・図書館協議会等の関係団体や学識経験者で構成する策定検討委員会を設置し、ご意見を頂戴する機会を作ってまいります。</p>
2-2	<p>B) 同様に、図書館が複合施設にという話は、図書館整備計画が後手後手で作成されることで見え見えです。</p> <p>2022.7.27の図書館協議会会議録にはこのように書かれていました。</p> <p>「現在、新木更津市立図書館整備計画の業務委託を行っている段階です。そこにどういう位置付けになるかというのが、教育委員会の今後の考えというか、方針になるのではと思われま。</p> <p>「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想の中で、図書館の複合施設のお話が出ていたのですが、こういった形で教育委員会が関わっていくのか、市立図書館なのか。それとも、公民館のように図書室、または図書コーナーぐらいなのか、市立図書館の規模なのか、その辺の具体的な話が入ってきてないというところがありますので、今後の計画が今回の業務委託と市立図書館をどのようにするのか計画も踏まえた中で位置付けされてくると思われま。</p> <p>このような答弁があり、新図書館整備基本計画の策定を業者に依頼したのでから。</p> <p>図書館は、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想段階では、もちろん、基本計画の作成段階でも、協議会の意見を参考にしながら作ったのではないことが明白です。</p>	
2-3	<p>C) このように、公民館や図書館がどんな複合施設にしたいのかがみえない段階でこの基本計画が進められたので、現在の管理運営は</p> <p>市民会館中ホール 指定管理 中央公民館 市の直営 図書館 市の直営</p> <p>今後についても、はっきり基本計画では明記していないものの、事務局は1つの計画となっています。</p>	<p>文化芸術施設の管理運営につきましては、指定管理制度の導入による施設全体の管理を基本としつつ、一部、市の直営による運営などを含め、経費の削減や住民サービスの提供のあり方も考慮したうえで、令和5年度のまちづくり実施計画策定において、管理運営の方法、業務範囲と内容の検討を進めてまいります。</p>
2-4	<p>D) 吾妻公園のそばには、社会館あづま保育園があり、陸上自衛隊木更津駐屯地の出入りする門もあります。中規模ホールイベントで渋滞があり、保育園の送迎に支障をきたすのでは？</p>	<p>施設整備にあたり、車両の分散を図るため出入口を数か所確保する等、渋滞対策の検討を進めてまいります。</p>
2-5	<p>E) 中規模ホールの創造活動部門と交流部門も公民館と共用とは。</p> <p>創造活動部門のスタジオは、公民館の多目的室と共用。</p> <p>練習室・展示室は、公民館の会議室で共用となる計画です。</p> <p>公民館の会議室590㎡のうち、ガラス張りの練習室や展示室にもなる会議室がある計画です。</p> <p>結局、利用者側からみれば、使用したい団体が重なり、なかなか利用しにくくなるということではありませんか。</p> <p>旧中央公民館には、調理室がありました。今の仮中央公民館は建物の関係上、なくても我慢しました。しかし、今度は、防災面でも活用する計画でありながら、調理室もないということは、残念です。調理室があれば、少なくとも、食器や調理器具は常備されています。</p>	<p>文化芸術施設における会議室等につきましては、「木更津市中規模ホール整備基本計画」における創造活動部門などが、中央公民館の会議室等と機能的に重複することから、共有して使用することを想定しております。</p> <p>なお、具体的な会議室や調理室の設置につきましては、令和5年度のまちづくり実施計画策定において検討を進めてまいります。</p> <p>また、会議室等を共有化することにより、各室の稼働率向上に寄与するものと考えております。</p>
2-6	<p>F) 築山と複合施設の場所は、どちらも、浸水が1~3mと推定しています。しかし、築山は、6mの高さにし、複合施設は、3mの高さのかさあげとしています。複合施設のかさ上げはもっとすべきでは。はじめから図書館の本は水没の危険性をはらんでいと考えます。</p> <p>ところで、この複合施設は、何年の耐用年数の予定ですか。</p> <p>意見公募を同時にして「木更津市地球温暖化対策実行計画（素案）の策定について」があります。P.47には、今後、温暖化による木更津市の影響は「海面水位は21世紀中に45~82cm上昇すると予測されており、東京湾に残った貴重な自然干潟である盤洲干潟（小櫃川河口干潟）も、海面上昇により干潮時であっても水面以下となり消失すると危惧されています。」とあります。</p> <p>つまり、温暖化では21世紀中に45~82cm上昇を予測しているながら、そのことは考えず、現時点の浸水のハザードマップだけに頼った将来設計でいいのでしょうか。</p>	<p>江川総合運動場周辺における築山は屋外施設であることから、計画高は余裕高3mを考慮し6mとしております。</p> <p>吾妻公園における盛土につきましては、防災ハザードマップに基づき設定しており、施設内部における水没の危険性は低いものと想定しておりますが、浸水防止板の設置や、将来における海面水位上昇予測を踏まえた盛土高の検討を進めてまいります。</p> <p>なお、文化芸術施設の耐用年数につきましては、今後、設計の段階で決定する構造に応じたこととなります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
3-1	<p>吾妻公園の整備方針によると、明らかに駐車できる駐車場スペースが明らかに不足しています。文化芸術施設のホールだけみても、客席700席となっています。</p> <p>整備イメージ図(全体図)によると、駐車場485台+85台=570台となっています。</p> <p>当該施設はホールだけではなく、図書館・中央公民館・共有部分となっていますが、最大利用人数を想定すると、1,000名にはなるでしょうし、そうすると車は最低1,000台を想定すべきと考えます。</p> <p>※自動車以外の交通手段も考慮し、巡回バスのルート延伸等利便性の確保について検討すると書かれていますが、現段階ではあくまで検討であり、先送りの顕著な例であると考えざるを得ません。</p> <p>検討の結果、巡回バスの延伸・夜の時間帯の利用ができない等が生じた場合、せっかくの鳴り物入りの施設が市民にとって利用しづらい施設となることは今から想定できます。</p> <p><具体的な解決策の提案></p> <p>現駐車場のスペースを2階構造にすると単純に1,140台、485台部分を2階構造にすると970台となり、合計1,055台となります。</p> <p>完成後に2階構造にするには、工事中は地盤強化も含め駐車場スペースが利用できなくなります。</p> <p>本日現在では、その時の案がホームページにそのまま掲載されているものと推測しますが、お役所得意の“建築諸経費等諸事情から総合的に判断した”とのことで、おそらくこのままの案で進んでいくのではないかと危惧しています。</p> <p>ますます公共交通機関がなくなり不便に向かうこの時代に、使い物ならない施設の建設とならないよう、熟考を求めます。</p>	<p>吾妻公園の駐車場につきましては、施設規模に見合った適切な駐車台数を確保するため、市民会館、図書館等の駐車場利用状況や自動車利用者の割合を踏まえ、ホール、図書館、公民館の想定最大利用者数に応じた駐車台数の検討を進めてまいります。</p> <p>また、多くの来場者が見込まれる大きなイベント時等は、西側県有地も含めた周辺駐車場との連携についても検討を進めてまいります。</p> <p>なお、吾妻公園は都市公園法等によって建ぺい率に制限があることから、現状では2層構造の駐車場整備は困難となります。</p> <p>巡回バスのルート延伸による利便性確保につきましては、引き続き詳細な検討を進めてまいります。</p>
4-1	<p>1. 自衛隊によるマルチメディア館の創設</p> <p>①これからのITと防衛</p> <p>②市民の安全・災害時の救援など活動経過と今後のあり方</p> <p>③「ヘリ」の試乗やイベントを今より拡大</p> <p>④戦前と今日の防衛など大型TVなどで目で見られる歴史</p> <p>⑤情報と防衛 近隣国の戦力、戦争と宇宙など</p>	<p>自衛隊の活動・歴史等を展示するスペースや、基地との交流に関する貴重なご意見とさせていただきます。</p>
4-2	<p>2. 木更津駅―自衛隊のマルチメディア館―金田アウトレット</p> <p>モノレールは下の道路をあまり干渉せずに運行できるメリットがある</p>	<p>まちづくり支援事業を活用するうえで、モノレールを整備することは困難と考えております。</p>
4-3	<p>3. 日本がウクライナの様な戦争の危機になったとき</p> <p>①避難箇所とその設置</p> <p>②自衛隊で大丈夫なのか？兵役の義務が起こるのか？防衛大臣などの講演・・・自衛隊の市民理解活動</p>	<p>武力攻撃事態等における避難施設につきましては、国民保護法に基づき都道府県知事が指定を行っております。</p> <p>また、指定された避難施設につきましては、内閣官房国民保護ポータルサイト上で公表されております。</p> <p>基地の役割の理解促進を図るため、文化芸術施設において自衛隊員との交流イベントや基地に関連する物品等の展示スペースを設置することについて検討を進めてまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
5-1	<p>1. 第Ⅱ章 まちづくり基本計画</p> <p>①江川運動場周辺地区の整備では現道の位置変更も考えるべき →例えば東側道路へ集約して拡幅を行う 民間活力検討ゾーンを一体利用できることで価値を上げる 逆に地蔵様(?)は大切に保存する方向で検討されたい</p>	<p>江川総合運動場周辺につきましては、今後の整備費軽減及び市街化調整区域における開発行為を可能とするため、都市公園としての整備を進めることとしており、市道の取り扱いも含め、令和6年度のまちづくり実施計画策定のなかで詳細な検討を進めてまいります。</p>
5-2	<p>②吾妻の防災対策としての盛り土の課題抽出が必要 →東西の幅が狭い中で斜面処理が適切に出来るか疑問 (例えば3mの高低差処理には36mの斜路と踊場が必要) バリアフリーを配慮した造成計画の施設配置とする 内港北とのアクセスやバス停の配置も考慮すべきである 内港公園(出島)との歩行者導線の整備も検討が必要</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、吾妻公園における盛土の斜面処理や造成計画、バス停の配置に応じた歩行者動線等につきまして、令和5年度のまちづくり実施計画策定のなかで整理してまいります。</p>
5-3	<p>③其他地区の方針と別に市民体育館周辺整備を特記する →弓道場の移設を含め屋内スポーツの拠点として位置付ける それにより防衛補助の活用が期待できるのでは。</p>	<p>市民体育館周辺につきましては、本まちづくり基本計画における重点地区ではありませんが、弓道場の移設候補地となっており、スポーツ施設も集中していることから、各種補助事業の活用も含めた整備の検討を進めてまいります。</p>
5-4	<p>④事業スケジュールの中で江川の築山の工程を見直す →中野畑沢線桜井工区の造成に間に合わせる工程を引く そのためには防衛省と土地利用についての協議が急がれる 期間を長くすることで圧密が進み地盤改良費が抑えられる</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、整備費用の縮減を見据え、中野畑沢線桜井工区の造成にあわせて江川総合運動場周辺における築山整備時期の見直しの検討を進めてまいります。</p>
6-1	<p>「素案」とは言っても、すでに原案がある様に思えてならない内容でした。 「新たなにぎわいの場・安心安全の創造」の下、交流・いのちを守ることについては賛同いたします。 災害、特に津波については、吾妻地区は東京湾からの津波の影響を正面より受ける場所で、築山や土盛を行うと案には書かれているが、不安があり、適地とは言えない。 また、吾妻在住の方も、津波が来るのに避難所だからと言って海岸に向かって移動する人はおるでしょうか？ 防災においては、危機管理のプロ、アドバイザーの国崎先生に伺ってみたい。 75%の補助金を利用することが先行していないのか？</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。 吾妻公園の周辺には津波に対応した避難場所がないことから、周辺住民や施設利用者が避難できるような施設整備を検討しております。 吾妻公園における盛土につきましては、防災ハザードマップに基づき設定しておりますが、将来における海面水位上昇予測を踏まえた盛土高の検討を進めてまいります。 また、文化芸術施設整備にあたり、交通アクセスが良く、まとまった敷地が確保できるとともに、補助金の活用が見込まれる吾妻公園が整備候補地として最適であると考えております。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
7-1	<p>●施策に賛同いたします。</p> <p>3. 吾妻公園の整備方針 P.23 3-7 施設整備の方向性 「吾妻公園」を活用するにあたり、整備の方向性を整理します。</p> <p>(1) 防災の観点 文化芸術施設は災害時の防災拠点となることから、建物は耐震性等を確保した構造計画とするとともに、施設内部が避難所機能、支援物資の搬入場所としての機能を備えることを想定し、大規模な災害時にも機能を失うことがないよう、必要な設備の配置等を検討していきます。</p> <p>また、非常用電源や自立・分散型エネルギーの導入についても検討していきます。</p> <p>【理由】 令和元年9月の房総半島台風では、千葉県でも長期間に渡る停電が発生し、市民の日常生活に支障が生じました。市民の避難所となる施設に、自立・分散型エネルギーを導入することで、長時間の電力供給が可能となり、災害時にも強い施設になると考えます。また、木更津市の「国土強靱化地域計画」にも、以下のとおり記載されております。</p> <p>P.80「32市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下」<強靱化の現状と課題（脆弱性評価結果）> <2>施設・備蓄品の整備 ○自立・分散型エネルギーの整備 難所等への非常用電源等の備蓄を進めている。 今後も、防災拠点や災害時に機能を保持すべき施設への自立・分散型エネルギー整備を進める必要がある。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>また、文化芸術施設につきましては、災害時に防災拠点となることから、その機能を失うことがないよう、令和5年度のまちづくり実施計画策定のなかで検討を進めてまいります。</p>
8-1	<p>1. 図書館について 図書館は現在ある場所、或いは中央公民館跡地に建設してほしい。 その場合は公民館との併設が良い。 吾妻公園の場所へ行くには老人、障がい者、学生には遠すぎる。 巡回バスを運行するというのが、不便である。 また図書館の駐車場は文京公民館のものと合わせれば十分である。 吾妻に立派な建物ができて、最初はめずらしいから行くとしても、図書館利用者は一年後には減るのではないだろうか。 それは木更津の文化の後退である。 そして木更津市立図書館には寄贈や委託の大事な古文書、絵画などが多数あるが、海の近くに置くのは、地震、津波、更に基地の火災などのときに問題があると思う。場所として基地に近すぎる。 是非にこの点を考えて欲しい。</p>	<p>現在の図書館の敷地は狭隘なため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、現時点で活用可能な補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保できず、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などの複合化を検討しております。</p> <p>アクセス面につきましては、図書館は自動車で訪れる方が大半を占めているとともに、吾妻公園は片側2車線の県道中野畑沢線に面し、交通アクセスに恵まれております。また、イオンタウン株式会社で運行している巡回バスのルートを吾妻公園まで延伸することを進めてまいります。</p> <p>文化芸術施設としてホール、図書館、公民館を複合化することで、他機能の利用者が立ち寄ることによる利用率向上や利用者の交流促進に寄与するものと考えております。</p> <p>さらに、現図書館より開架スペースを広げることで、利用しやすく、皆様に親しんでいただける場所となるように整備してまいります。</p> <p>吾妻公園における盛土につきましては、防災ハザードマップに基づき設定しており、施設内部における水没の危険性は低いものと想定しておりますが、浸水防止板の設置や、将来における海面水位上昇予測を踏まえた盛土高の検討を進めてまいります。</p>
8-2	<p>2. 余りにも防衛庁の補助金に頼っている。 木更津市当局は余りに防衛庁の目先の補助金に頼っている。 そのことにより、将来において市と市民は後に思いがけない被害を被ることになるかもしれない。どんどん基地が強化され、外国から仮想敵国の基地として認識され、最初の時点で爆撃の対象になる可能性が木更津市にでてくる。 東京、横須賀に近いから油断は禁物である。 またオスプレイ振動で病気になる人もいる。 市と市長は目の前のお金でなく、長い目で市民を守って欲しい。</p>	<p>本まちづくり基本計画は、自衛隊等の航空機の騒音により周辺地域の住民の生活などが阻害されている状況において、その障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設が存在を前提としたまちづくりを行う場合に、国がその一部を補助する「まちづくり支援事業」の採択を目指すものです。</p> <p>なお、安全確保につきましては、全ての航空機の運用・整備についての安全対策の徹底を引き続き働きかけてまいります。</p>
8-3	<p>3. 展示スペースについて。 常設の自衛隊活動の展示スペースを作るのはどうかと思う。 市民の展示スペースにするべきではないだろうか。</p>	<p>まちづくり支援事業を活用するにあたり、防衛施設が存在するという地域の特徴を活かした施設整備を要することから、これまでも基地と共存してまちづくりを行ってきた本市の歴史を踏まえ、自衛隊活動の状況等を展示するスペースについて検討しております。</p> <p>また、市民の展示スペースにつきましては、文化芸術施設内の会議室等が活用できるよう設備の検討を進めてまいります。</p>